

作成日 : 2015年11月1日

改訂日 : 2022年 5月1日

安全データシート

1. 製品名（化学品）及び会社情報

製品名（化学品）の名称	: ステンレス鋼、耐熱鋼、ニッケル、ニッケル合金
会社名称	: 岩谷産業株式会社
部署名	: マテリアル本部 金属部
住所	: 東京都港区西新橋3丁目21番8号
電話番号	: 03-5405-5759
FAX番号	: 03-5405-5627
緊急時連絡電話番号	: 03-5405-5759

2. 危険有害性の要約

鋼材としては、一般的な環境下では、現在のところ危険有害性に関する有用な情報なし。

但し、溶接、溶断等にもなうヒュームや研削等による粉塵は呼吸器、目等の粘膜を刺激する場合があります、アークは火傷を起こす場合があります。また、切削屑等は皮膚を傷つける場合があります。

なお、鋼材に含まれる元素成分については、純物質として下記の危険有害性の情報がある。

化学品のGHS分類 : GHS第6版 準拠
事業者向けGHS分類ガイダンスVer. 2.0 準拠

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分4
急性毒性（吸入）	: 区分1
皮膚腐食性及び刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	: 区分2、2B
呼吸器感作性	: 区分1、1A
皮膚感作性	: 区分1、1A
発がん性	: 区分2
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	: 区分1、3
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	: 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性短期（急性）	: 区分1
水生環境有害性長期（慢性）	: 区分1、4

※分類区分に該当しない場合には上記に記載せず各セクションにて分類根拠を記載する。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

感嘆符

健康有害性



注意喚起語

危険、警告

危険有害性情報	H302	:	飲み込むと有害
	H330	:	吸入すると生命に危険（気体、蒸気、粉じん及びミスト）
	H315	:	皮膚刺激
	H319	:	強い眼刺激
	H320	:	眼刺激
	H334	:	吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
	H317	:	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	H351	:	発がんのおそれの疑い
	H360	:	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
	H370	:	臓器の障害（呼吸器、腎臓、消化器）
	H335	:	呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）
	H372	:	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器、神経系、肺、心臓、甲状腺、血液系、生殖器（男性））
	H400	:	水生生物に非常に強い毒性
	H410	:	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
	H413	:	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

【安全対策】

P202	:	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
P260	:	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
P264	:	取り扱い後は手をよく洗うこと
P270	:	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
P271	:	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
P272	:	汚染された作業衣は作業場から出さないこと
P273	:	環境への放出を避けること
P280	:	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること
P284	:	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること

【応急措置】

P301+312	:	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること	
P302+352	:	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと	
P304+340	:	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること	
P305+	:	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクト	
P351+	:	レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。	
P338	:	その後も洗浄を続けること	
P308+311	:	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること	
P310	:	ただちに医師に連絡すること	
P312	:	気分が悪いときは医師に連絡すること	
P314	:	気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること	
P330	:	口をすすぐこと	
P332+313	:	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること	
P333+313	:	皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること	
P337+313	:	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること	
P342+311	:	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること	
P362+364	:	汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること	
【保管】	P403+233	:	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと
	P405	:	施錠して保管すること
【廃棄】	P501	:	内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物（鉄を主成分とした合金鋼）
 化学名又は一般名 : ステンレス鋼、耐熱鋼、ニッケル、ニッケル合金鋼

化学物質名	CAS No.	濃度wt%	官報公示No.	★化管法No.	★安衛法No.	化学式/分子量
ケイ素	7440-21-3	5%以下	-	-	-	Si
マンガン	7439-96-5	10%未満	1種 465	412	550	Mn
ニッケル	7440-02-0	10%未満	1種 354	308	418	Ni
クロム	7440-47-3	10%～20%	1種 111	87	142	Cr
モリブデン	7439-98-7	7%以下	1種 505	453	603	Mo
銅	7440-50-8	5%以下	-	-	379	Cu
ニオブ	7440-03-1	1%以下	-	-	-	Nb
チタン	7440-32-6	1%以下	-	-	-	Ti
アルミニウム	7429-90-5	6%以下	-	-	37	AL
タングステン	7440-33-7	3%以下	-	-	337	W
コバルト	7440-48-4	1%以下	1種 156	132	172	Co
スズ	7440-31-5	1%以下	-	-	322	Sn
鉄	7439-89-6	残量	-	-	-	Fe

4. 応急措置

鋼材は通常状態で固体であり、一般的な環境下では応急措置が必要な事態は発生しないが、鋼材の加工等により発した粉塵/ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、また、粉塵/ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる
- 皮膚に付着した場合 : 速やかに多量の水と石鹼で洗う
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する
- その他 : 鋼材切断面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は傷口の清潔を保つ
アーク等により火傷した場合は、患部を冷やす

5. 火災時の措置

鋼材は不燃性（固体）の状態であり、周辺の火災時にも消火器・水による消火を行っても問題ない。ただし、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

- 適切な消火剤 : 火災の状況に適した消火剤を使用する
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏出時の措置

鋼材は固体であり、一般的な環境下では漏出することはないが、鋼材の加工等により発生した粉塵/ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を使用して、粉塵/ヒュームの吸入や眼への侵入を防ぐこと。
- 環境に対する注意事項 : 切断・研磨等の加工で発生した粉塵等は、速やかに回収する
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 鋼材の加工等により発生した粉塵類は、適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 鋼材を溶接・溶断又は研磨等の加工を行い、粉塵/ヒューム等が発生する場合は、適切な保護具を着用すること。 粉塵/ヒューム等が発生する場合、必要な局所排気/全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	: 重量物の為、転倒、荷崩れ、落下に注意する。 鋼材の切断端面及び切削屑等は、「バリ」「カエリ」などにより皮膚を傷つける場合がある。 溶接、溶断等にもなうアークは火傷を起こす場合がある。 結束及び梱包フープ（バンド）の切断時に、フープの跳ね返りやフープ先端に注意を要する。 特にコイル製品の場合には、コイル先端が跳ね上がる可能性があるため安全には充分な留意を要する。
接触回避	: 水漏れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避ける
保管	
安全な保管条件	: 高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー、梱包等を行うこと。
容器包装材料	: 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

鋼材は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露防止及び保護措置に関する有用な情報は無い。ただし、溶接・溶断又は研磨・切削等の加工の際は、ヒュームや粉塵類が発生するので、下記に示す設備対策及び保護措置を実施すること。

管理濃度	:	
許容濃度	:	マンガン 0.02mg/m ³
		ニッケル 1mg/m ³
		クロム 0.5mg/m ³
		コバルト 0.05mg/m ³

(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会（年版）	:	2021
設備対策	:	
換気方法	:	情報なし
除害方法	:	情報なし
保護具		
呼吸器の保護具	:	呼吸用保護具（防じんマスク）
手の保護具	:	保護手袋
眼の保護具	:	保護めがね
皮膚及び身体の保護具	:	保護衣、安全靴
特別な注意事項	:	

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態（外観、形状など）	: 固体
色	: 銀白色
臭い、臭いの閾値	: 金属臭
融点・凝固点	: 1370度以上
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 不燃性
爆発下限界及び上限界/可燃限界	: 燃焼しない
引火点	: 燃焼しない
自然発火温度	: 燃焼しない
分解温度	: 情報なし
pH	: 情報なし
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 水に不溶
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	: 該当しない
蒸気圧	: 該当しない
密度及び/又相対密度	: 7~9 g/cm3
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 一般の環境下では、安定している
危険有害反応可能性	: 水や酸などの化学物質と接触すると、酸欠、有害なガス発生の原因となる可能性がある。
避けるべき条件	: 高湿、混触危険物質との接触を避ける
混触危険物質	: 酸化性物質など
危険有害な分解生成物	: 溶接・溶断などの加工時に発生するヒューム中に金属化合物が含まれる場合がある

11. 有害性情報

有害性項目	[Mn]	[Ni]	[Cr]	[Mo]	[Cu]	[Al]	[W]	[Co]	[Sn]
NITE 分類実施年度	2006	2009	2019	2015	2013	2015	2015	2020	2019
急性毒性(経口)	-	-	-	-	-	-	-	区分4	-
急性毒性(吸入:粉塵, ミスト)	-	-	-	-	-	-	-	区分1	-
皮膚腐食性/刺激性	区分3	-	-	区分2	-	-	-	-	-
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分2B	-	区分2	区分2	-	-	区分2B	区分2B	区分2
呼吸器感受性	-	区分1	区分1A	-	-	-	-	区分1A	-
皮膚感受性	-	区分1	区分1A	-	区分1A	-	-	区分1A	-
生殖細胞変異原性	-	-	-	-	-	-	-	-	-
発がん性	-	区分2	-	-	-	-	-	区分2	-
生殖毒性	区分1B	-	-	-	-	-	-	区分1B	-
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1	区分1	区分3	区分3	区分1,3	区分1	区分3	区分1	区分3
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1	区分1	-	-	-	区分1	-	区分1	区分1
誤えん有害性	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1 2. 環境影響情報

有害性項目		[Mn]	[Ni]	[Cr]	[Mo]	[Cu]	[Al]	[W]	[Co]	[Sn]
NITE 分類実施年度		2006	2014	2019	2015	2013	2015	2015	2020	2019
生殖 毒性	水生環境有害性短期 (急性)	-	-	-	-	-	-	-	区分1	-
	水生環境有害性長期 (慢性)	区分4	-	-	-	-	-	-	区分1	-
残留性・分解性		情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
生体蓄積性		情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
土壤中の移動性		情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
オゾン層への有害性		情報なし	-	-	-	-	-	-	-	-

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、安全で、かつ環境上望ましい方法で処分すること。
- 汚染容器及び包装 : 容器及び包装に汚染物質が付着している場合、残余廃棄物と同様に、産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。
環境に配慮し、空容器/包装等をリサイクルすることが望ましい場合は、安全で、かつ、環境上望ましい方法でリサイクルすること。
受領者は、その地域の廃棄規則に従って対応すること。

1 4. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

1 5. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物
物質名：ステンレス鋼、耐熱鋼、ニッケル、ニッケル合金
(法第57条の2、施行令第18条の2 別表第9)
- 化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法) : 第一種指定化学物質
物質名：ステンレス鋼、耐熱鋼、ニッケル、ニッケル合金
(2023年3月31日迄-政令No./2023年4月1日以降-政令No.)

16. その他の情報

改訂履歴：

*本SDSは「JIS Z7253:2019/GHS第6版」に準拠して作成しています。

参考文献：

- 1) NITE製品評価技術基盤機構-化学物質総合情報提供システム(CHRIP)
- 2) 日本ケミカルデータベース(株)-化学品かんたん法規制チェック ezCRIC
- 3) 厚生労働省-職場のあんぜんサイトGHS対応モデル情報 改訂2019年3月15日版
- 4) 化学工業日報社-15911の化学商品
- 5) 経済産業省-GHS混合物分類判定システムver6.0

この安全データシートは弊社が知り得た情報に基づいて誠意をもって作成しております。記載データや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。ご使用に先立って危険、有害性情報のみならず、ご使用になる期間、地域、国の最新の法規則、条例、指導などは使用者が自ら調査しそれらを最優先してください。

販売・譲渡・提供致しました当該製品は安全性の点からも速やかに消費される事を大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので、万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談下さい。また記載の注意事項は通常の取扱いを対象としたものであつて、特別な取扱いをする場合は状況に適した安全対策を実施の上、十分な注意を払いご使用下さい。

全ての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』という認識で扱うべきであり、その危険性有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時は開封から保管・廃棄に至るまで、資格者、専門的知識、経験のある方のみ、或いはそれらの方の指導の下で、使用者各位の責任において安全な使用条件を整えて注意事項等

記載内容の問い合わせ先； 岩谷産業株式会社 マテリアル本部 金属部
03-5405-5759

※NITE-GHS対応SDS・ラベル作成の参考文書

https://www.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_sds.html GHS対応ラベル/SDS作成 (nite.go.jp)

※NITE-Gmiccs/NITE-GHS混合物分類判定ラベル作成システム

<https://www.ghs.nite.go.jp/> Gmiccs (nite.go.jp)

※製品安全担当のページ

[【6. 化学物質管理のページ】](#)

[【7. GHS/LBG/SDSのページ】](#)

※ 容器への2次元バーコード表示や企業HPからURLその他SDS閲覧可能等の情報伝達手段を講じる。⇒相手方への通知が必要。省略は不可。

⇒ 厚労省モデルSDS 2次元バーコード事例 (簡易なものはMEで作成可能)



LPG 液化石油ガス

Liquefied petroleum gas

CASNo. 68476-85-7